PTA協議会の今後のあり方について

平成29年度 北九州市PTA協議会総会開催

平成29年6月3日（土）リーガロイヤルホテル小倉で北九州市PTA協議会の平成29年度総会が開催されました。平成28年度活動報告・決算報告、平成29年度事業計画・予算などが審議可決されました。また、「PTA協議会の今後の在り方について」が提案され承認されました。北九州市PTA協議会は、北九州市教育委員会をはじめとする行政と連携しています。役員が、保護者代表として行政・諸団体へ出向し諸会議に参加しています。これから の北九州市PTA協議会は、連合会、単位PTA、会員の皆様と双方向の情報を伝達・共有に努めてまいります。全国64協議会の中で3協議会は、すでに一般社団法人を取得しています。今年度は、本PTA協議会も、一般社団法人格取得のメリット・デメリットを調査・研究していきます。

これからも、北九州市PTA協議会は、単位PTAの皆様方から、真に必要とされる組織になるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局紹介

市P協の事務局のスタッフの紹介をいたします。

久保川博文事務局長、今永委子事務局員、村山淑美事務局員の3名で、お世話をさせていただきます。

本年度も、昨年同様よろしくお願いいたします。

副会長
田中　梨恵
（市特支P連）

副会長
脇　文子
（八幡西区中P連）

副会長
金田　孝一
（市特別支援学校校長会）

副会長
小野　宏一
（市中学校校長会）

副会長
佐藤　文俊
（市小学校校長会）

常務理事
植木　直寛
（門司区中P連）

専務理事
多田　政博
（若松区中P連）

会 長
曽我部　駿介
（八幡西小P連）

監 事
芳賀　信江
（市特支P連）

監 事
河野　忠男
（小中連携）

副会長
寺田　朋嗣
（小倉北区小P連）

副会長
野田　武志
（門司区小P連）

副会長
遠嶋　秀彦
（戸畑区小P連）

副会長
清水　良江
（八幡東区中P連）

副会長
密井　政直
（小倉北区中P連）

副会長
松岡　建吾
（小倉南区小P連）

副会長
村島　永俊
（若松区小P連）

平成29年度　主要行事計画

月	主な事業（共催事業含む）	日Ｐ・指定都市・九Ｐ・三Ｐ協
6	「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩募集 「ファミリートークのひ」（6月25日）	九Ｐ総会・理事会・母親委員会・副会長会・事務局会 日Ｐ理事会 三Ｐ協研修会（6月30日）
7	北九Ｐ協新聞141号発行	日Ｐ理事会・協議会連絡会・協議会代表者会
8	家庭教育講演会（8月20日）	第12回「Stop・ザ・非行ふくおか」福岡市大会（8月5日） 第65回日Ｐ全国研究大会仙台大会（8月25日・26日）
9	国内交流研修事業応募者募集	九Ｐ理事会・副会長会・母親代表会・事務局長会・事務局員研修会 第73回指定都市PTA情報交換会大阪大会（9月14日・15日） 四Ｐ協教育交流会(9月29日)
10	国内交流研修事業応募者審査	第62回九州ブロック研究大会大分大会（10月21日・22日）
11	いじめ防止標語コンテスト作品募集	日Ｐ年次表彰式
12	北九Ｐ協新聞142号発行	九Ｐ理事会・事務局長会
1	教育懇談会	日Ｐ理事会
2	会長・副会長・役員研修会（2月4日）	九Ｐ幹部研修会 日Ｐ理事会・ブロック協議会会長会・臨時総会
3	北九Ｐ協新聞143号発行 広報紙コンクール作品募集	三Ｐ協会長・事務局長会議
4	広報紙コンクール審査	九Ｐ理事会
5	PTA指導者研修会 PTA広報委員研修会	日Ｐ理事会・ブロック協議会会長会・協議会代表者会

さらなるレベルアップへ

平成29年度　北九州市PTA広報委員研修会に200人

北九州市ＰＴＡ協議会では、北九州市教育委員会と共催して、毎年5月にＰＴＡ広報委員研修会を開催しています。本年度は、5月18日（木）ホテルクラウンパレス小倉で開催されました。

まず初めに、今年度の広報紙コンクールにて優秀な成績を収められました学校の表彰式がありました。

続いて、講師に元北九州市立門司特別支援学校　北九州市新聞教育研究会　元顧問の日笠眞裕美先生をお招きして講習会を開催しました。『レイアウトの方法』『記事の書き方』等、どのようして広報新聞を作っていくのか、具体的にお話をしていただきました。本年度表彰された学校のＰＴＡ新聞を参考に、この新聞のどこが良いのか、的確なアドバイスをいただき、参加された広報委員さんからは参加して良かったという声をたくさんいただきました。また、小グループ編成でのディスカッションの中では、他校の活動の様子を知ることもできました。

本日の講習会で学んだことを日々のＰＴＡ新聞作りに活かして頂けたらと思います。

全国入賞を目指して

第39回　全国小・中学校　ＰＴＡ広報紙コンクール

北九州内市内の小学校・中学校・特別支援学校から、多数の応募がありました。日本ＰＴＡ全国協議会の審査基準を基に、厳正なる審査を行った結果、下記の10校の広報紙を第39回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクールへ推薦させていただくことになりました。

小学校

広報紙名	ＰＴＡ名
足原つうしん	北九州市立足原小学校ＰＴＡ
さくら、広報だより	北九州市立花尾小学校ＰＴＡ
ＰＴＡこうとく	北九州市立広徳小学校ＰＴＡ
わかその	北九州市立若園小学校ＰＴＡ
いぶり	北九州市立井堀小学校ＰＴＡ
ＰＴＡ新聞じょうのっ子	北九州市立城野小学校ＰＴＡ

中学校

広報紙名	ＰＴＡ名
ウェーブ	北九州市立小倉南特別支援学校保護者教師会
菅生中ＰＴＡ	北九州市立菅生中学校ＰＴＡ
企救中ＰＴＡ	北九州市立企救中学校ＰＴＡ
思永	北九州市立思永中学校ＰＴＡ

皆様の応募をお待ちしています

第10回　いじめ防止標語コンテスト

主催　いじめ防止委員会
共催　ＡＩＵ保険会社

北九州市ＰＴＡ協議会では、最近大きな社会問題となっている「いじめ問題」に対する取り組みとして「いじめ防止標語コンテスト」を公立小中学校の児童生徒を対象として実施しています。平成28年度は、10月に募集を開始しました。小学校22校、中学校13校から合計5，508作品の応募をいただきました。ご応募ありがとうございました。審査の結果、下記の作品が入賞しました。平成29年度も、たくさんの皆様の応募をお待ちしています。

平成29年3月27日(月)
東武ホテルレバント東京にて

いじめ防止標語コンテスト入賞作品

※学年は、平成28年度の学年です。

全国賞	だいじょうぶ、友だちは、みんな、おうえんだん	塔野小学校　4年　久野　孝高
	いじめると、不登校・自殺、負の連鎖、一生残る、取れない責任	門司中学校　3年　青木　優
優秀賞	「あの子やだ」つられて悪口はじめるな	長尾小学校　5年　古屋敷洋利
	ないている子　みんなできこう　「どうしたの？」	戸畑中央小学校　1年　安藤　花
	ぼうげんは　心の中の　傷害罪	吉田中学校　2年　縣内亮太郎
	身にしみた　君の隠れた　思いやり	南小倉中学校　2年　雌熊　康隆
PTA推薦賞	すぐ止まれ　いじめのアクセルに　ブレーキを	長尾小学校　5年　福　智行
	「やめようよ」勇気を出して言えたぼく　そんなぼくが大好きだ	長尾小学校　6年　宮﨑　永遠
	笑顔は無限　いじめはゴメン 笑顔ふやして いじめ撲滅 !!	花尾中学校　3年　藤原　美羽

牧山小学校いじめ防止の取り組み

平成二十八年度、北九州市立牧山小学校の子どもたちによる、委員会新聞が発刊されることになりました。そのきっかけは、六年生から「もっと学校全体に向けて、私たちの活動を知らせたい。また、たくさんの行事・活動を成功させるための呼びかけを行っていきたい」という子どもたちからの考えが出されたためでした。そしてみんなに読まれる新聞づくりをしたいという考えにまとまりました。

子どもたちからの発案に対し、どうすればよいかを当時、牧山小学校教務主任の内村先生が考え、子どもたち主体で「発信」できる基盤をつくり、「スマイル牧山」の第一号が発刊されました。

当初は「運動会のスローガン」「日頃の学校生活」「新任の先生紹介」など、子どもたちらしい内容でしたが、徐々に『考える』が浸透し始め、オリジナリティを盛り込んだ内容に変わっていきました。

二学期に入り、編集方針に変化が見られるようになったきっかけとなる出来事がありました。それは『いじめ防止サミット』でした。参加したことを報告するだけでなく、自分たちでも何かできることはないか…を考え、第六号では「いじめをなくす取組」として、いじめをゼロにするために『スマイル牧山』で呼びかけていこうとする、子どもたちの思いが出てくるようになりました。

具体的に三つの取組を、自分たちで考えてそれを新聞に掲載することで、学校全体に広まっていきました。

スマイル牧山
牧山小からいじめをなくそう
スマイル牧山 第６号［実際に発行された新聞です］

三つのテーマ

一、いじめ見回り隊の取組

中休みや昼休みに、児童運営委員会が校舎をパトロールし、いじめを見つけたら注意、または先生に報告します。

二、いじめ防止をテーマとするドラマ制作

脚本を考え、撮影を行い、給食時間に放送して、全校で考えてもらいます。

三、お話回転ずし

一年生から六年生まで順番に話をして、知らない人がいなくなれば、学校全体もまとまると思います。

残念ながら『お話回転ずし』は、年度内に時間が取れずに持ち越しとなりましたが、後の二つは実行され、見事に学校全体がいじめに対して意識を持つようになりました。

子どもたちの発案に対して、自分たちで考えてもらい…そして自分たち動く行動力を身につける、それを実行した内村先生にお話を伺いました。内村先生は今年度から、藍島小学校教頭として赴任しています。快く取材に応じていただき、当時のお話もしていただきましたので一問一答を紹介します。

Q 子どもたち主体で行った目的は？

A 牧山小学校では鼓笛隊があり、上級生になると「鼓笛隊を頑張る」という意識が芽生えます。それが次第に「やる気」になり「自分たちでやるんだ」となって、学校を良くしたいとなったのではないでしょうか。そこを考えた時に、やる気を無駄にしたくないという思いにくなりました。

Q 三つのテーマは非常に素晴らしいと思いますが、全て子どもたちだけで考えたものですか？

A はい、そうです。絞れた訳ではありませんでした。例えば、「いじめを見たら、止める・伝える」といった標語形式のものや、悪口は言わない、あいさつ運動で声掛けをしたり、けんかを止めようとか…でしたが、みんなで取り組むとを意識するとこの三つのテーマになりました。

Q 実際にいじめはなくなりましたか？

A 同学年ではいざこざはありますが、下級生をいじめるというようなことはなかったです。またいざこざがあっても、日頃からいじめを意識しているせいか、その場で仲直りもして、尾を引くような事案はなかったと思います。

今回取材を伺った内村教頭先生

全国の仲間との交流

「日本ＰＴＡ全国国内研修事業」に参加して

平成29年3月26日（日）～30日（木）、沖縄県の渡嘉敷島で日本ＰＴＡ全国協議会主催の「国内研修事業」が開催されました。

北九州市ＰＴＡ協議会からは、中学2年生男子1名、女子1名を派遣しました。申込者に対し面談を行い、立川　凜君（中央中学校）・田中　美衣さん（洞北中学校）が選ばれました。国内研修事業に参加し、次のような感想が寄せられました。平成29年度も、9月頃募集をいたします。たくさんの中学2年生の皆様の申し込みをお待ちしています。

題「今回の研修で学んだこと」

立川　凜君

今回の研修で私は班の仲間と協力してプログラムに取り組むことが出来ました。その中で、リーダーの出した指示を聞き、考えて行動に移すことが出来ました。海洋研修のシュノーケリングではバディと助け合いました。海の中を探索していると、2回も海ガメと出会いました。そして同時に、この美しい海を保全して未来に残していかないといけないと感じました。

また、ワークショップでは、沖縄の伝統文化である獅子舞を直に体験しました。獅子舞は二人で息を合わせるのがとても難しかったです。

平和学習では、実際に戦争を体験した方からの臨場感のある話で改めて戦争の悲惨さや、平和の大切さを学ぶことが出来ました。そこで自分は、戦争を知らない人にも戦争について伝えていかなければならないと思います。

今回の研修では、色々なことを学ぶことが出来て本当に良かったです。

題「にふぇーでーびる」

田中　美衣さん

最終日、全員が涙を流し別れを告げた。私も数年ぶりに泣いた。しかし初日、誰一人知った人はおらず、それぞれが不安そうだった。

初めて行った渡嘉敷は山と海しかなく、どこか落ち着く空間だった。3日目に行った海はまさに白い砂浜青い空青い海で、底が透けて見えるほどの透明度に思わず感嘆した。雄大な自然に囲まれ生活を共にする内に気がつけば友達が増え、笑顔が増えていた。

今回私が一番印象的だったことは方言のおもしろさだ。私は他の県の人と話す機会が全くなかったので他の県の方言がとても面白かった。自分自身意識せず使っていた方言に気づき驚いた。最後にはみんなの言葉が移り、帰ったとき家族に驚かれた。

この研修に参加できて本当によかった。校長先生、ＰＴＡの方々、リーダーの大学生たち、島の方々、そして共に過ごした仲間たち。この研修に関わってくれたすべての多くの人たちに「ありがとう」の言葉を届けたい。

全国から集まった中学生達は、5日間の交流を通して、貴重な体験とたくさんの思い出をつくることができました。

北九州市PTA協議会は「ケータイ・スマホ夜10時電源OFF運動」を推進しています。

北九州市PTA協議会では、子どもとメディアの問題について考え、
積極的に啓発活動を行っていきたいと思います。
メディアとの長時間に及ぶ接触はいまだかつて人類が経験したことのないものとなり、
心身の発達過程にある子どもへの影響が懸念されています。

ここで述べるメディアとはテレビ、ビデオ、テレビゲーム、携帯ゲーム、インターネット、携帯電話などを意味します。特に、乳児や幼児期ではテレビやビデオ、学童期ではそれに加えてテレビゲームや携帯用ゲーム、思春期以降ではインターネットや携帯電話が問題となります。